

掛時計 | 衛星電波クロック

取扱説明書

このたびはセイコークロック商品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
この時計によって生じた、いかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。
この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

本製品、またはアフターサービスなどについてご不明なことがありましたら、製品の裏面または底面に表示されている製品番号（品番）をご確認のうえ、セイコークロック（株）お客様相談室にお問い合わせください。

（例：GP○○○、HS○○○、FW○○○など）

お客様相談室 0120-315-474

<http://www.seiko-clock.co.jp>

発売元

セイコークロック株式会社

説明書番号 AGP-011P

保証・アフターサービス

- この時計はメーカー保証です。
保証の内容については付属の保証書をご覧ください。なお、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、販売店がお預かりし、メーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名が捺印された保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品、および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- この時計の修理用部品は、製造終了後7年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは、製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。なお、修理可能な期間は、ご使用条件により異なります。また、修理可能な場合でも、元どりの精度とならない場合があります。販売店とよくご相談ください。
- 修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品または再生品を使用させていただくことがありますので、ご了承ください。
- 有料修理の際は、本体の修理料金のほか、販売店と修理工場との間の往復運賃など、諸費用をお客様にご負担いただきます。なお、修理代金が標準小売価格を上回る場合があります。あらかじめご承知ください。
- 保証期間中・経過後ともに、修理を依頼されるときは本製品を販売店にご持参ください。
- お買上げ販売店で保証が受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。
- お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、保証の対象外となりますので、ご注意ください。
- ご不明な点は、お客様相談室にお問い合わせください。

必ずお守りください 安全上のご注意

警告 死亡または重傷を負う恐れのある内容

<アルカリ電池について>

- (1) ショート、充電、分解、変形、加熱、火に入れるなどしないでください。
アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- (2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合は、きれいな水で洗い流してください。また、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

<梱包用ポリ袋について>

窒息する恐れがありますので、ポリ袋を絶対にかぶらないでください。

<液晶パネルについて>

液晶パネルが破損した場合、ガラスおよび中の液晶には十分注意してください。万一、以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- (1) 皮膚に付着した場合は：付着物を拭き取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- (2) 目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄した後、医師の診断を受けてください。
- (3) 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出した後、医師の診断を受けてください。

注意 けがをしたり家財に損害を与える恐れのある内容

<掛け方について>

時計は確実に掛けてください。時計の落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがあります。掛ける場所、壁の材質・構造をご確認のうえ、本製品の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。ご使用の際は、同梱の『製品の取扱に関する重要なお知らせ』も必ずお読みください。記載された場所以外に取り付ける場合は、建築メーカーなどにご相談ください。
※ 掛け具に時計を掛けた際、時計を上下左右、そして手前に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認してください。

厚い木の壁・木の柱に掛けるとき	付属の木ねじをご使用ください。
石膏ボードの壁に掛けるとき	付属の掛け具（掛金具、釘）をご使用ください。 付属の木ねじは使用しないでください。
コンクリートなど、上記以外の壁や柱に掛けるとき	付属の木ねじ・掛け具は使用しないでください。 市販の掛け具をご使用ください。 ※ 市販の掛け具によっては、正しい掛け方ができない場合があります。上記の<掛け方について>をよくお読みのうえ、本製品に適した掛け具をご使用ください。

<時計の設置場所について>

落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

<電池について>

下記の注意事項を必ず守ってください。電池の使い方を間違えると、液漏れや破裂によるけがの恐れがあり、また、機器の故障の原因となります。

- (1) 製品仕様に記載された電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていても、すべて新しい電池と交換してください。また、時計を使わないときは、電池をすべて取り外してください。電池を入れたままにしておく、古い電池からの液漏れなどにより、時計や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- (2) 電池は必ず \ominus 側から入れてください。また、 \oplus \ominus を正しく入れてください。
- (3) 付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れや破裂の恐れがあります。
- (4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けないでください。
- (5) 直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。また、使用済みの電池は速やかに処分するか、幼児の手の届かない所に保管してください。
- (6) 時計が動かない場合などは、電池の端子が汚れていることがあります。そのときは、やわらかい布などでクリーニングしてください。
- (7) 付属の電池は、工場出荷時に同梱された電池です。お買上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。
- (8) 充電式電池や初期電圧が高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

<分解や改造をしない>

お客様が本製品を分解されると、けがをしたり、故障の原因となる恐れがあります。

<時計と電池の廃棄について>

お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。

衛星電波クロックについて

■衛星電波クロックとは

GPS (Global Positioning System: 全地球測位システム) 衛星から送信される時刻情報を受信して、正確な時刻を表示する時計です。衛星にはおよそ 10 万年に 1 秒の誤差という超高精度を保つ原子時計が搭載されています。本製品は世界中どの場所でも 1 基以上の GPS 衛星から時刻情報を受信して、時刻を合わせる時計です。（※本製品は時刻情報のみを受信し、位置情報は取得しません。）

■タイムゾーン、サマータイムについて

協定世界時 (UTC : Coordinated Universal Time) を基準にして、その国や地域ごとに共通に使う標準時があります。標準時は協定世界時との差 (時差) で表し、それぞれの国や地域によって決められています。同じ標準時を使う地域をタイムゾーンといい、現在では39のタイムゾーンに分かれています。
また国や地域によって夏の間、太陽の出ている時間帯を有効に活用する目的で現行の時刻に1時間を加えたサマータイム (DST : Daylight Saving Time) を実施しています。
本製品は日本の標準時である『+9時間』が設定されています。海外でご使用する場合は、その国、地域のタイムゾーンから標準時の設定及びサマータイムの設定を行う必要があります。

必ずお読みになってからご使用ください

使用場所について

下記のような場所では使用しないでください。時計や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また、本製品は業務用ではありません。

- 温度が 50℃以上になる所や直射日光の当たる所。
(例) 屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が -10℃以下になる所。プラスチック製の部品や電池が劣化することがあります。
- ちり・ほこりの多い所。
空気中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まり、時計が止まることがあります。
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
磁力の影響で、進み・遅れが生じたり、時計が止まる場合があります。
- 浴室など湿度が 90%以上になる所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など、多くの油を使用する所。
霧状になった油分が時計の歯車などに付着し、時計が止まる場合があります。
- ビニール系素材の壁、敷物などの上。壁や敷物、および時計が汚れたり傷むことがあります。
- 木枠の時計の場合は、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、40℃以上の高温になると、接合部が変形したり損傷することがあります。
- 寒い所から暖かい所への移動などによる、急激な温度変化を避けてください。（結露に注意してください）

本製品をご使用の際は、できるだけ電波を受信しやすい窓際などに設置してください。なお、天候、時間帯、建物の影響など、次のような環境条件の下では正確に受信できないことがあります。場所を変えてご使用ください。

- ビルの中、ビルの谷間、地下
 - 高圧線、テレビ塔、鉄道の架線の近く
 - 冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリなどの家電製品やOA機器の近く
 - 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の発生しやすい所
 - 乗り物の中（自動車、電車、航行機など）
 - スチール机など、金属製の家具の上や近く
 - その他、電波ノイズを発生させるものの近く
- ※ 電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で動作します。

使用上のご注意

- 本製品にはマイコンが内蔵されています。静電気などにより誤動作することがありますが、故障ではありません。誤動作した場合は、リセットボタンを押してください。
- リセットボタンを押した場合は、時刻などはリセットされます。（時差およびサマータイム設定は保持されます。）

<液晶パネルについて>

- 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。
- 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり判読できなくなることがあります。

お手入れについて

プラスチック枠の時計の場合

- 枠を清掃するときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少量、やわらかい布に含ませてふいてください。その後、やわらかい布で乾きさせてください。

木枠・金属枠の時計の場合

- 汚れやほこりを取るときは、やわらかい布で乾きさせてください。
- ※ お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種ブラシなどは使用しないでください。また、殺虫剤、ヘアスプレーなどがかからないようにしてください。変色したり、傷が付く恐れがあります。

製品仕様

改良のため予告なく変更する場合があります

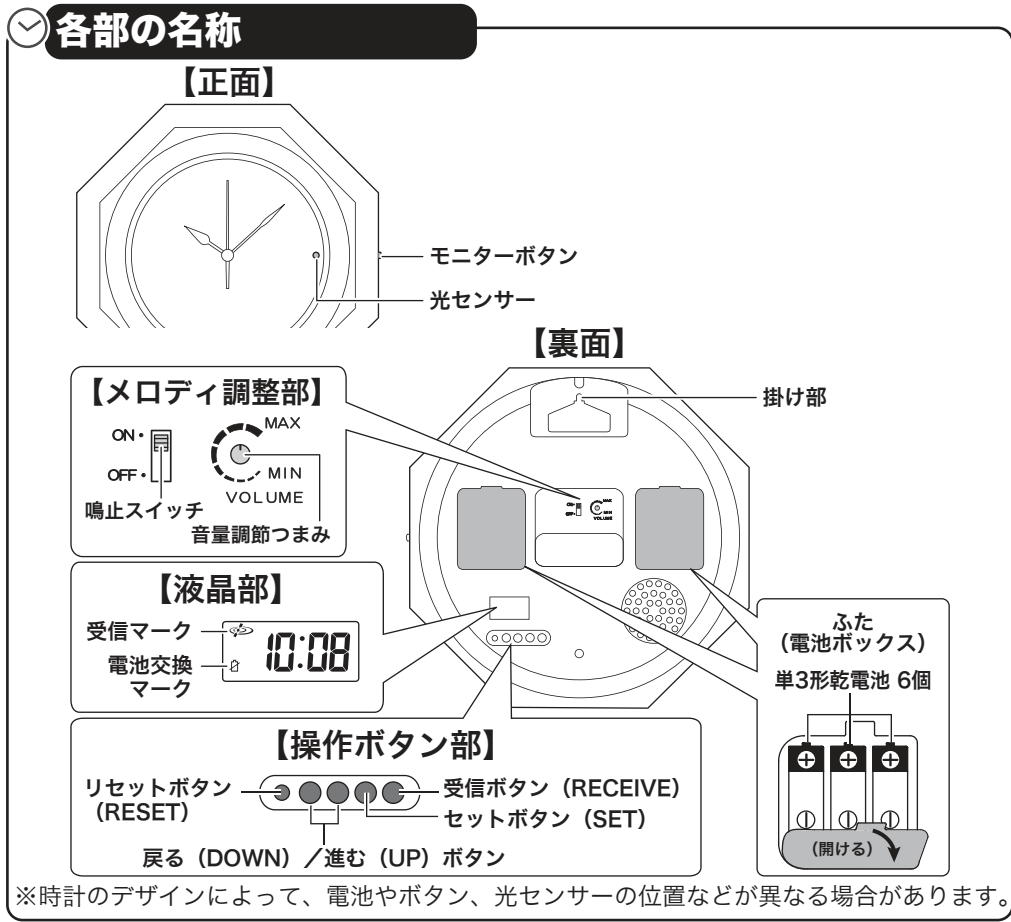
精度：	平均月差±20秒（受信による時刻修正を行わない場合・気温5℃～35℃で使用した場合）
使用温度範囲：	-10℃～+50℃（液晶表示部 判読可能温度範囲：0℃～+40℃）
使用電池：	単3形乾電池 6個
電池寿命：	約1年（単3アルカリ乾電池（LR6）を6個使用時） 音量（中）でメロディを1日16回鳴らした場合 ・自動受信… 最多1日4回（受信から次の受信まではクオーツの精度で動作） ・手動受信… ボタン操作による
受信機能：	
時刻合わせ機能：	GPS衛星からの電波受信による自動セット、または手動セット
標準時設定：	時差……±14時間まで（設定単位：30分） 分調整…±60分まで（設定単位：1分）
サマータイム：	ON/OFF（ONの場合…開始/終了の月・週（日曜日固定）・時間の設定が可能）
カレンダー：	2000年1月1日～2099年12月31日のフルオートカレンダー （月末、うるう年とも修正不要）

電池切れ予告機能：秒針を停止し、電池交換マークを表示して、電池交換時期をお知らせします。
※指針（針の表示）誤差について：構造上、若干の指針誤差が生じる場合があります。
※電池の寿命はご使用の条件によって変わります。

付属品

ご使用前に確認してください。

- 取扱説明書（本書）1枚
 - モニター用電池（単3アルカリ乾電池）6個
 - 保証書 1枚
 - 製品のお取扱いに関する重要なお知らせ 1枚
 - 木ねじ 1本（厚い木の壁・木の柱専用）
 - 石膏ボード用掛け具（掛金具1個、釘5本（うち1本は予備））
- ※ 付属の電池は、工場出荷時に同梱された電池です。お買上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池の寿命が切れることがあります。



故障かな?と思ったときは

本製品が正常に動作しないときは、修理を依頼される前に、以下の表を参考に対処してください。なお、新しい電池と交換する場合は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症状	考えられる原因	処置方法
針が動かない	<ul style="list-style-type: none"> 電池が入っていない 電池が正しい向きに入っていない 電池の端子や電池ボックスの接片が汚れている 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい電池を、向きを確かめながら入れてください。 電池の端子や電池ボックスの接片の表面を拭いてください。また、電池を入れた後、電池を2~3回転させてください。
針が不規則に動く	<ul style="list-style-type: none"> 電波の受信中、または時刻修正中である 静電気などにより、マイコンが誤作動している 	<ul style="list-style-type: none"> 受信終了後、通常の動作に戻ります。 リセットボタンを押してください。
ボタンやスイッチの操作が効かない	<ul style="list-style-type: none"> 電波の受信中、または時刻修正中である リセット後の、電波の受信中である 電波の受信が成功していない 	<ul style="list-style-type: none"> 受信終了後、通常の動作に戻ります。 時刻の修正動作が終了してから、再度ボタンやスイッチを操作してください。 「電波を受信できなかった場合」を参照し、再度受信させてください。
時刻が合っていない	<ul style="list-style-type: none"> 電池の容量が少なくなっている きちんとリセットされていない 標準時(時差)やサマータイムが設定されている カレンダー情報が受信できていない 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい電池を、向きを確かめながら入れてください。 リセットボタンを確実に押してください。 戻る/進むボタンを押して設定をご確認ください 手で再度受信させてください
サマータイムの設定ができない	<ul style="list-style-type: none"> うるう秒 (情報) が受信できていない 	<ul style="list-style-type: none"> 窓際など受信しやすい場所で、手で再受信させてください。うるう秒 (情報) を受信し液晶部の点滅が終わると秒のずれが調整されます。 設定を確認してください
秒針が合っていない	<ul style="list-style-type: none"> 分単位の時差 (MINUTE ADJUST) が設定されている 	<ul style="list-style-type: none"> 設定を確認してください
針と液晶表示が合っていない	<ul style="list-style-type: none"> 鳴止スイッチがOFFになっている 自動鳴止機能が作動している 	<ul style="list-style-type: none"> スイッチをONに設定してください。 室内を明るくすると報時します。
報時しない		

便利な機能

電池切れ予告機能について
この時計には電池切れ予告機能がついています。電池の残量が少なくなると秒針が停止し、液晶部に (電池交換マーク) を表示します。新しい指定の電池にすべて交換してください。

設定を確認する
● (戻る/進むボタン) で「西暦」、「月/日」、時差およびサマータイムなどの設定を確認できます。

光センサーによる自動秒針停止機能について
光センサーによって時計の周囲の明るさを検出し、暗くなると秒針が「12時の位置」で停止します。明るくなると、「00秒」に合わせて秒針が動き出します。
※ 秒針が停止している間も、時計と分針は正しい時刻を表示します。

モニター機能について
● (モニターボタン) を押すと、時刻に関係なく報時動作を行います。また、演奏中に ● (モニターボタン) を押すたびに曲が切り替わります。



ご使用方法

① 電池を入れる (単3形乾電池 6個)
本体裏面のふたを開けて、 側から電池を入れてください。

注意

- 電池の の向きを間違えないように注意してください。
- 種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 充電式電池や初期電圧の高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

② ● (リセットボタン) を押す
液晶部は「-: -」を表示し、電波の受信を開始します。
・受信中は受信マーク が変化します。
・窓際などできるだけGPS衛星からの電波を受信しやすい場所で行ってください。
・時刻の受信に必要な時間は、最短で10秒です。受信は、最長50分続けます。

重要 電池の交換後は、必ず ● (リセットボタン) を押してください。

※ リセットボタンは先の細いもので押してください。
参照 詳しくは、裏面の『衛星電波クロックについて』をご覧ください。

受信に成功した場合

液晶部に現在時刻が表示され、自動で針を現在時刻に合わせます。
※ 受信中、受信マークが変化します。針の調整中は、液晶部の時刻表示が点滅します。

受信できなかった場合

針は停止したままです。液晶部の受信マークが消えて、「-: -」が表示されます。

参照 『電波を受信できなかった場合』の手順に従って、場所を変えて再度受信させるか、手で時刻を合わせてください。

③ 受信結果を確認する
液晶部の受信マークが以下のように表示されます。

	過去24時間以内に受信に成功しています。
	過去6日以内に受信に成功しています。
表示がない	過去6日以内に一度も受信できていません。

※ または が表示されている場合は、衛星からのカレンダー情報が受信できていません。

④ 正時 (毎時00分) にメロディを鳴らす/鳴らさない
 (鳴止スイッチ) を選択してください。

ON	正時になると報時動作を行います。 ※メロディは、正時になるたびに切り替わります。
OFF	正時になっても報時動作を行いません。

※暗い所では光センサーにより、報時動作を行いません。(睡眠の妨げ防止のため)

⑤ 本製品を設置する
本製品を、使用したい場所に掛けてください。
※窓側や時計正面方向に窓があるなどできるだけGPS衛星からの電波を受信しやすい場所に掛けてください。
参照 付属の『製品のお取扱いに関する重要なお知らせ』に従って、本製品を正しく掛けてください。

自動受信について
自動的に電波を受信し、時刻の補正を行います。(最多1日4回)

メロディを鳴らす場合

音量を調節する
● (音量調節つまみ) でメロディ演奏の音量を調節できます。
MINの方向に回すと、音量が小さくなります。
MAXの方向に回すと、音量が大きくなります。
・ ● (モニターボタン) を押すと、設定した音量でメロディが鳴ります。音量調節つまみを回して、好みの音量に調節してください。
※ 調整中にメロディを途中で止めたい場合は、 (鳴止スイッチ) をいったんOFFにしてください。
参照 詳しくは、『便利な機能』の『モニター機能について』をご覧ください。

電波を受信できなかった場合

手動で電波を受信して時刻を合わせる

- 電波状況の良い窓際などへ移動する
- (受信ボタン) を長く押す (約5秒)
受信を開始します。
・受信中は受信マーク が変化します。
・受信できなかった場合、場所を変えて再度受信させます。

手動で時刻を合わせる
電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。

- (セットボタン) を長く押す (約10秒)
時差 (例: +9:00) が表示されても、年 (YEAR) が表示するまで約10秒押し続けてください。
- (戻る/進むボタン) を押し、年 (YEAR) を合わせる
- (セットボタン) を押し、● (戻る/進むボタン) を押し、月日 (MONTH DAY) を合わせる
- (セットボタン) を押し、● (戻る/進むボタン) を押し、時刻を合わせる
● (戻る/進むボタン) を長く押すとスキップします。
- (セットボタン) を押す
設定が完了し、設定した時刻に針を合わせます。

海外で使用する場合

本製品の初期の時差は日本の標準時 (協定世界時+9時間) に設定されています。その他のタイムゾーンで使用する場合には、標準時 (時差) とサマータイムを設定してください。
・この設定機能は日本国内で時刻をずらして使いたい場合にもご活用いただけます。
参照 詳しくは、裏面の『衛星電波クロックについて』をご覧ください。

標準時 (時差) とサマータイムを設定する

- (セットボタン) を長く押す (約2秒)
- (戻る/進むボタン) を押し、標準時を設定する
表示する国・地域の標準時 (時差) を設定します。
・±14時間まで30分単位で設定できます。
- (セットボタン) を押し、● (戻る/進むボタン) を押し、1分単位で時刻を合わせる
30分単位では調整しきれない時間 (例: 5分) を設定します。
・±60分まで1分単位で設定できます。
・ネパールなど時差が15分単位の地域はここで設定してください。
- (セットボタン) を押し、● (戻る/進むボタン) でサマータイム (ON/OFF) のON/OFFを選択する
● (OFF) で● (セットボタン) を押すと、設定が完了し、設定した時刻に針を合わせます。
● (ON) で● (セットボタン) を押すと、サマータイムの設定 (⑤~⑪) に続きます。
- (戻る/進むボタン) を押し、サマータイム開始月 (START MONTH) を設定する
- (セットボタン) を押し、● (戻る/進むボタン) を押し、サマータイム開始週 (START WEEK) を設定する
・第1~4週およびEn (最終週) まで設定できます。
- (セットボタン) を押し、● (戻る/進むボタン) を押し、サマータイム開始時刻 (START) を設定する
● (戻る/進むボタン) を長く押すとスキップします。
- (セットボタン) を押し、● (戻る/進むボタン) を押し、サマータイム終了月 (END MONTH) を設定する
- (セットボタン) を押し、● (戻る/進むボタン) を押し、サマータイム終了週 (END WEEK) を設定する
- (セットボタン) を押し、● (戻る/進むボタン) を押し、サマータイム終了時刻を設定する
※ サマータイムの開始・終了の日付は選べません。すべて日曜日となります。
- (セットボタン) を押す
設定が完了し、設定した時刻に針を合わせます。
設定の間は、設定した時刻が点滅し、完了すると点灯します。
<表: 主要都市の時差>

都市名	時差	都市名	時差	都市名	時差
<世界協定時>	0	ニューデリー	+5.5	ソウル	+9
ロンドン	0	バンコク	+7	シドニー	+10
パリ	+1	北京	+8	リオ・デ・ジャネイロ	-3
ベルリン	+1	上海	+8	ニューヨーク	-5
ローマ	+1	香港	+8	ロサンゼルス	-8
モスクワ	+3	台北	+8	ホノルル	-10
ドバイ	+4	東京	+9		

(※国の事情により都市名や時差が変わることがあります。)